

第11回 こう地地域チームケア研究会



くすのきセンター

1階 研修室

平成26年11月13日（木）

交 流 会

- 講演を聞いた感想・もっと知りたいこと
 - 自分の職種では何ができるか など
- ✿ グループ発表後は、自己紹介タイムです。

- ・薬剤師さんの居宅療養管理指導を利用して多くの情報を得られてよかったです。
- ・居宅療養指導を利用していると、薬剤師さんが薬以外にもいろんな話を聞いてCMに教えてくれたり医師とのやり取りをしてくれたりして助かる。
- ・居宅管理指導の利用が利用可の薬局さんや使い方がわからず、訪問看護を利用している現状。
- ・薬剤師の仕事、活用、相談ができていない。
- ・サプリメントは今も増えてきているのでメーカーへ問い合わせするようにしている。

- ・薬局の手帳には緊急時の連絡先を記載してある。24時間対応の薬局もあるので確認を。
- ・糖尿病など合併症を持っている方には薬を歯科治療の際止めないように言っているが自己判断でやめる人も。敏感な人もいるので要注意。薬手帳の提出を必ずと話している。問診時に提出。
- ・歯科医でもお薬手帳を持ってくる人も。活用している。
- ・薬を飲めているかだけではなく、薬による状態を伝えられているか？
- ・薬が飛び散らないようにする福祉用具、自助具がある

- ・薬手帳をたくさん持つておられる方もいるが一冊にまとめる方向で。インフルエンザ済は薬手帳に貼る。大災害時に携帯できる。薬手帳は電子化への動きがある
- ・薬手帳を介護関係者で共有したいと思っているが何冊も持っている。DM手帳や血圧手帳、サービス手帳などいろいろある手帳をまとめられないのか。
- ・いろんな病院(他科)にかかっているとそれぞれから内服が出る。重複している薬もある。かかりつけの薬局を持つようになるとが大切。共通の薬手帳を持っているといい。重なる薬は後で削除することで医療費の削減にも

- ・一包化はどこでもできる。技術料がかかる。
- ・薬の変更時、廃棄する場合は、個人で行うか、薬局に相談。残薬を再利用できることもあるので。
- ・残薬があってもCMから医師に言いづらい。薬剤師さんから伝えてもらえるとありがたい
- ・薬局への相談の中で危ないと思うことは・・・。糖分の多い栄養ドリンクで本人は効いていると思ってしまう。
- ・漢方は効き目が緩いと安心して長く服用されている人もいるが種類によってカリウムが蓄積する場合があることが分かった

- ・薬局としては飲めているか心配。訪問看護、ヘルパー、CMから情報を。薬に関して主治医に言いにくくて続けている人、とりあえず薬剤師に相談してください。
- ・在宅の状態を確認できれば飲めない対策も薬剤師で対応ができる。CMから情報をもらえたら
- ・パーキンソンの方の薬の調整が大変
- ・服薬管理、確認するシステムが必要
- ・居宅療養管理指導料が取れていない人も気軽に相談できるところがあればいい。

- ・下剤のコントロールについて、入所の方は、途中で変更できるが、ショートステイ利用者は変更できないので大変困っている。常用していると強くなってしまっている。
- ・管理栄養士さんより。便通を良くする商品の紹介。
- ・下剤をたくさんためている人がいる。薬手帳は大切。
- ・病院、薬局を複数かかり、薬手帳が複数ある薬局で問い合わせるが、患者さんはここだけといわれる。
- ・自己判断で服用を休止する人、自分に効果があった薬を他人にあげるという人がいる。他人にはあげてはいけない。

- ・薬剤の粉碎に関して、薬によってはほかの薬と混ぜると化学反応を起こし危険な場合もある
- ・通所では持参薬が違ったり飲めていなかったりする。処方箋も最新のものか判断ができない。
- ・病院ではおかしいと感じた時連携室を通じて開業医さんと連携することはある。問題がある場合は包括支援センターから指導してもらう。
- ・薬剤師会より、薬局にて残薬を回収します。有効活用できるものは活用する予定。12月より開始。

- ・多職種連携で薬管理ができる仕組みを作りたい
- ・薬剤師さんへのハードルが高いのでは？ケアマネ主導で多職種で情報を共有すべきでは。
- ・福祉用具事業所、ふらつきの副作用がある薬を服用されている利用者の情報はほしい
- ・疑義照会が有効である

- ・100円ショップの薬カレンダーが有効活用できる。家族や支援者も見てわかる。
- ・認知症、独居の人の薬管理が難しい。支援者があずかって管理するという方法もされている。
- ・薬剤師は処方箋があったら薬局では止められない。医師に問い合わせはできる。
- ・解熱剤で熱を下げすぎることがあるので介護の人は注意を。処方箋に服薬管理が必要と指示があれば服薬管理指導できる。

Q & A

Q) 病院等では長期(90日)投与が多い。体調に変化があっても90日待たないといけない。簡単に連絡が取れないか。どこに相談したらしいか

A) 薬局に連絡してよい。処方元と薬局の連絡先が記載されている。処方もとに遠慮せず連絡相談を。

Q) 食前と食後服用について

A) どうしても飲めない場合は支援に合わせて飲む時間を変更する場合もあるが、必ず医師に確認を。血中濃度との関係があり勝手にしてはいけない

Q) 国を挙げてジェネリックに移行しているが、効果は？

A) ジェネリックに変更しても効果は変わらない。

全く同じ。使用に関しては薬剤師に相談を。

Q) ジェネリックに変更する場合医師に相談した方がいいのか、薬局でいいか

A) 医師が変更不可と判断する場合は処方箋に記載あり。それ以外の薬変更相談は、薬局で大丈夫。

Q) 力めない人がマグミットを飲むとだらだら出る。他に良い薬はないか

A) 力めない場合仕方がないのでは。力むことで他に弊害が出る場合も。医師と相談を。ソフトクリーム便が良い

Q) ヨーグルトに混ぜていいか

A) 酸度によって変わるのでお勧めできない

Q) 整腸剤と便秘薬の併用は効果があるのか？

A) 問題はないが効果があるのかは？？

Q) 薬の期限について…

A) 使用期限がある。期限が切れたものは廃棄。期限中でも剤形に変化があれば廃棄

Q) 薬は砕いていいか

A) 砕いていけないものもある。確認してから薬局は対応している。腸溶性のものなどは砕かない